

「第22 酒の買次第」

はじめに

「酒の買次第」のタイトルはどういう意味なのか分かりにくいのですが、酒を買う時にまつわる計算方法が課題なのでしょう。どういう意味なのかも考え合わせて読んでいきましょう。

1. 「酒の買次第」とは

第二十二 酒ノ買次第	
銀三百匁にて上中下ノ酒同種買申時ニ	諸白壹匁ニ貳升
一と置二升ニわ	れハ五分
壹匁ニ片白貳升五合	一と置二升五合
ニ割四分	一と置三下ニわ
三口合壹匁二分三リ三も有是代ニ	り三分三リ三も
して	右ノ銀三百匁をわれハ貳石四斗三升三合ニ成是上中下ノ酒ノ升数也是へ刻代ノねをかくる也
諸白貳石四斗三升三合	銀百廿一匁六分五リ
片白貳石四斗三升三合	銀九十七匁三分三リ
ナミ貳石四斗三升三合	同八十一匁超ニリ
酒合七石二斗九升九合	代銀合三百目
歌に	ミきときく菜ノ名をも菊ノ酒
一さんよりもとをこる刻代	

読下し文になおしましょう。

第二十二 酒の買次第	
銀三百匁にて、上中下の酒同種買申す時に	諸白一匁に二升
一と置き二升到割れば五分	一匁に片白二升五合
一と置き二升五合に割り四分	一匁に並三升
一と置き三下に割り三分三厘三毛	三口合わせて一匁二分三厘三毛有り。是代にして
右の銀三百匁を割れば、二石四斗三升三合に成る。これ上中下の酒の升数也。これへ刻代の値をかくる也。	諸白二石四斗三升三合
銀百二十一匁六分五厘	片白二石四斗三升三合
銀九十七匁三分三厘	並二石四斗三升三合
同八十一匁超えて二厘	酒合わせて七石二斗九升九合
代銀合わせて三百目	歌に
神酒ときく	菜の名をも
菊の酒	一さんよりもと
おこる刻代	

読下し文を見ると、だいたいどういう問題かはお分かりだと思います。まず、

銀300匁で、上・中・下の酒を同じ分量ずつ買います。諸白は1匁に2升、1升なら2升で割って5分。片白は1匁に2升5合、1升なら2升5合で割って4分。並は1匁に3升、1升なら3升で割って3分3厘3毛。三口合わせると1匁2分3厘3毛になります

とあります。「銀300匁で、3種の酒を同量ずつ買うとき、いくらの量の酒を買うことができますか」という問題ですね。

2.「酒の買い次第」を解くぞ！

「諸白」は、今でいう清酒です。「片白」は白米と黒麹で醸造した濁り酒です。「並」は、それよりもランクが落ちる濁り酒です。どぶろくのようなものかもしれません。

諸白・・・1匁で2升 1升・・・5分（ $10 \div 2$ ）
片白・・・1匁で2升5合 1升・・・4分（ $10 \div 2.5$ ）
並・・・1匁で3升 1升・・・3分3厘3毛（ $10 \div 3$ ）

ということが書かれていますね。

これら三口を合わせると、

$$5 + 4 + 3.33 = 12.33 \text{ (分)}$$

これは、それぞれの酒を1升ずつ買ったときの金額（銀）です。

では、続きです。

銀300匁を12.33分で割ると、2石4斗3升3合になります。これは上中下の酒の升数です。これにそれぞれの価格をかけます

とりあえず計算をしますが、金額を匁になおして計算をしますと、

$$\begin{aligned} 300 \div 1.233 &= 2.433090024 \dots \\ &\div 2.433 \\ &= 2 \text{石} 4 \text{斗} 3 \text{升} 3 \text{合} \end{aligned}$$

これが、銀300匁で買えた酒の量（升数）になりますね。

これに、「それぞれの価格をかける」と書かれています。

**諸白2石4斗3升3合 銀121匁6分5厘
片白2石4斗3升3合 銀97匁3分3厘
並 2石4斗3升3合 銀81匁2厘
酒合わせて7石2斗9升9合 代銀合わせて300匁**

価格をかけます。

$$\text{諸白：} 5 \text{分} \times 2 \text{石} 4 \text{斗} 3 \text{升} 3 \text{合} = 121 \text{匁} 6 \text{分} 5 \text{厘}$$

$$\text{片白：} 4 \text{分} \times 2 \text{石} 4 \text{斗} 3 \text{升} 3 \text{合} = 97 \text{匁} 3 \text{分} 2 \text{厘}$$

並　：3分3厘3毛×2石4斗3升3合＝81匁1厘8毛9絲
 ÷81匁2厘

3口を合計いたしますと、

121匁6分5厘＋97匁3分2厘＋81匁2厘
 ＝299匁9分9厘
 ÷300匁

となりましたね。